

小島地区ふれあいセンターだより



令和5年2月 第392号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



2月の行事予定

※毎週月曜日は休所日です。

開催日	行事名	
1日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時~12時
3日(金)	子育て教室	午前10時~11時30分
7日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時~11時
10日(金)	愛宕3丁目自治会給食会	
12日(日)	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時~11時
14日(火)	小島中学校区青少年育成協議会	
15日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時~12時
25日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会	午前10時30分~
	小島地区連合自治会連絡会議	

「正月用いけ花教室」講座について

12月28日(水)に、小島地区ふれあいセンターの主催講座として、講師の納富やい子先生による恒例の「正月用いけ花教室」を開催しました。

テーマは「フラワーアレンジメントを楽しみませんか!」で、15名の方が参加されました。

参加者の皆さんは、お正月用の美しいフラワーアレンジメントづくりを楽しめました。

花材は、若松、梅、シンビジューム、カーネーション、五色南天、竹など、豪華な、お正月花が活けられました。



南山手界限(大浦天主堂②)

○旧羅典神学校(国指定重要文化財)

・正式名称「長崎公教神学校」、同校の授業がラテン語で行なわれたことが由来となっています。明治8年(1875)に完成しました。
・設計は、ド・ロ神父(1840-1914)。構造は木骨レンガ造り。ド・ロ神父は、建築技術に造詣が深く、設計監督した建物は、極めて堅牢なのが特徴。基礎部分は、漆喰とニカワを混ぜて作られ、コンクリートのような強度を今でも見せています。
・ド・ロ神父は、この外、大司教館、外海町の出津教会など多くの建物を残しています。

○旧長崎大司教館(県指定文化財)

・一部に木骨が使われているレンガ造りの3階建て、大浦天主堂の司教館として大正4年(1915)完成。大司教館としては全国最古。
・ド・ロ神父は、この建物の建築現場で監督の途中、足場から転落したことで持病が悪化し死去されました。この建物が、最後の作品となりました。

○大浦天主堂キリシタン博物館

・旧羅典神学校と旧長崎大司教館は大改修され、キリシタン博物館になっています。

・禁教令時期の隠れキリシタンの様々な礼拝具や、キリシタンに関する貴重な資料が展示されています。

※禁教への転換と殉教「展示の一部」

西坂の丘で26人が殉教しました。(殉教徒最年少者の言葉)

12歳のルドビコ茨木は、キリスト教を捨てるように奉行の弟に誘われますが、「この世の短い命と、永遠の命を取り換えるわけにはいきません」と、きっぱり断ります。

26人の殉教は、仲間の信者たちを勇気付け、人々を感動させ、教えを信じる人々を増やし、海外にも大きな反響を呼びました。(抜粋)

次は、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

長崎雑話(1) 竹方其

じゃがたらお春(二)

そのような時代の流れのなかで、混血児に受難の時代が始まった。

幕府は、寛永十三年(一六三六)五月十九日付けの通達で、ポルトガル、スペイン人の国外退去を命じた。

一、南蛮人の子孫は、日本に残し置かざる様、堅く申し付ける事、もし違背して残し置くことあれば、死罪。親族の者も処罰す。

一、長崎にいる南蛮人の子供、又はこれらの子供を養子にしている者は、父母等一人残らず死罪に価するが、一命を救い、南蛮人のいる地に赴くことを許す。

但し、日本に帰っていたり文通したりする者は死罪とし、その罪は親族にも及ぶ。

この下知状により、ポルトガル人の血を引く混血児と、その母ら二八七人が、大村藩士八百余人の厳重な警備のなか、同年七月八日、ポルトガル船四隻が長崎に入港し、八月十三日に、マカオへ追放された。

これらの中には、混血児以外に、日本人の妻になったポルトガル婦人、混血児の母である日本女性、混血児を養子とした日本人夫婦、ポルトガル人の妾であった日本女性も混じっていた。

「クリスマス演奏会」について

十二月二十五日(日)に、小島地区ふれあいセンターで、長崎市民文化団体の「シルバー・アックス」による「クリスマス演奏会」が開催されました。

当日は、雪が心配されましたが、幸い、晴天になりました。演奏会では、クリスマスソングや懐メロの曲が披露され、観客の皆さんは、楽しいひと時を過ごされました。

最後に演奏した「勝手にシンドバッド」では、会場の皆さんに、「今何時」という掛け声をかけていただきました。

いつも、演奏会を聞きに来られている簗先四十三様(長崎県俳人会会長)に、一句、詠んでいただきましたので、ご紹介します。

『スウイングに乗り 晴天のクリスマス』

(演奏会の様子は、スマホにより、左上のQRコードで御覧いただけます)

クリスマスソング



勝手にシンドバッド



長崎雑話(1)

竹方其

じゃがたらお春(三)

その後、寛文十二年(一六三七)島原の乱が起り、幕府は一層、異国人に対する警戒を強め、寛永十六年(一六四一)長崎奉行に対し、オランダ人等と日本人との間に生まれた混血児等に対する追放令が通達された。

オランダ人に、日本で混血児をもつ事を禁じ、もし混血児をもつような事があつた場合には、父、母、子とも海外へ追放。混血児の母が死亡し祖母が養育しているときは、そのままにしてよいというのであつた。

混血児は、それまでも度々、マカオに追放されていたが、この追放令によつて、オランダ、イギリス系の混血児と、その母親三十二人が平戸に廻され、オランダ船ブレタ号で平戸からジャガタラ・バタビア(インドネシア・ジャカルタ)に追放された。

その中には、イタリア人航海士ニコラス・マリンと日本人マリア(三十七歳)との間に生まれた万(マゲダレナ、十九歳)と、春(ジェロニマ、十五歳)共に追放になった。



〈新着図書のご案内〉

	書 籍 名	著 者 名	出 版 社
一 般 図 書	うちの子、なんか変!?	竹之内 幸子	合同フォレスト
	秋冬美しい大人の編みもの vol.3	—	ブティック社
	ついイラッときても感情的に反応しない方法	和田 秀樹	アスコム
	天下大乱	伊東 潤	朝日新聞出版
	孤影の太刀	上田 秀人	徳間書店
	へんろ宿	藤原 緋沙子	新潮社
	掬えば手には	瀬尾 まいこ	講談社
	皇室財産	奥野 修司	文藝春秋
	コリと痛み改善 BOOK	大沼 勝寛	ソシム
	古墳のひみつ	古代浪漫研究会	メイツユニバーサルコンテンツ
	いちばんよくわかる!基本のおかず	石原 洋子	学研プラス
	春いちばん	玉岡 かおる	家の光協会
	不知火判事の比類なき被告人質問	矢樹 純	双葉社
	新型コロナウイルス感染症体験記	石田 繁博	星湖舎
	雪の花	吉村 昭	新潮社
	敵討	吉村 昭	新潮社
	総員起シ	吉村 昭	文藝春秋
	『古事記』に隠された「壬申の乱」の真相	関 裕二	PHP 研究所
	神域	真山 仁	文藝春秋
	中学英語まとめイラスト	神林 サリー	永岡書店
児 童 図 書	日本の歴史 16	—	KADOKAWA
	コールテンくんのポケット	ドン・フリーマン	好学社
	ピージョのごちそう祭り	川端 誠	偕成社
	だれもしらない小さな家	エリナー・クライマー	岩波書店
	のぞく図鑑穴	宮田 珠己	小学館
	ドリトル先生航海記	ヒュー ロフティング	岩波書店
	ほね	堀内 誠一	福音館書店
	もりのくうちゅうさんぽ	松岡 たつひで	福音館書店
	たこをあげるひとまねこざる	マーガレット レイ	岩波書店
	わんぱくだんのかいていたんけん	ゆきの ゆみこ	ひさかたチャイルド